

楽しむ



住吉祭り

住之江区は、古代に由来を持つ地域から現代に整備されたまちに至るまで、異なる発展を遂げてきた地域から成り立っています。これを反映し、区内各所には、それぞれの地域固有の個性豊かな歴史的・文化的資源が存在しています。このような強みを生かしながら、住之江区ならではの魅力を創出し、区民の皆さんが誇りに思い、国の内外の人々をも引き付けることのできる、個性と楽しみに満ちたまちづくりを進めていきます。

■住之江ならではのブランド力の向上

古代から現代に至るまでの長い歴史の中で蓄積されてきた有形無形の地域資源の発掘・活用や、住之江区ならではの文化の創造・発信などにより、地域の活性化を図るとともに、住之江区のブランド力を高めていきます。

□歴史と文化を生かした魅力の創造、発信

地域活性化の資源として、住吉大社周辺等での古くから伝わる歴史的・文化的行事や、地域に残る町屋などの歴史的建造物を活用したまちづくりを進めていきます。また、こうして創出される地域の魅力を広く発信していきます。



加賀屋新田会所跡



加賀屋天満宮夏祭り

□アートを活用したまちづくり

アートをテーマとしたイベントの開催やアーティストとの協働などを通じ、住之江区ならではの文化を創造し発信していきます。また、その効果を周囲にも波及させ、地域を活性化していきます。



すみのえアート・ビート2016



名村造船所ウォールペインティング

■多様な主体による地域の活気と魅力づくり

住之江区内の各所では、個人レベルから、地域団体、NPO、企業に至るまで、地域の皆さんによる活発で多様な活動が展開されています。こうした活動を源泉にしながら、地域の活気と魅力の向上に向けたまちづくりを進めていきます。

□地域主体のイベントを通じた魅力づくりや課題の解決

地域に伝わる祭りや伝統行事の継承と発展、あるいは少子高齢化などの地域課題の解消をテーマとしたイベントを活性化していくことは、地域活力の向上に大きな効果をもたらします。住之江区では、こうした地域行事やイベントが、継続性・自立性のある着実な取組として発展していくよう、支援を行っていきます。



安立まつりウィーク

□地域、NPO、企業などの連携による地域づくりと産業創造

地域で活動する住民組織、NPO、企業が、それぞれ個別に活動するだけでなく、互いに強みを発揮し、協力、連携し合うことによって、新しい活力が生み出されていきます。また、そのことが地域ビジネスやサービスを創出し、地域の暮らしに活気や安心感をもたらします。こうしたことが実現するよう、区役所が仲介役となり、様々な活動主体の交流の場を提供するとともに、交流のための仕組みづくりを進めていきます。



企業・NPO・学校・地域交流会



地域の未来を語り合う懇談会

■愛着と生きがいを感じる地域づくり

住之江区をより魅力あるまちとしていくためには、地域の皆さんが愛着と誇りを持ち、生きがいを感じながら暮らすことのできる環境を整えていくことが重要です。このため、花と緑豊かな美しい地域づくりを、地域の皆さんとともに進めていくほか、一人ひとりが、生涯にわたって、日々、充実した暮らしを送ることのできる環境づくりに取り組んでいきます。また、地域活動の一層の活性化と発展を目指し、若者世代のまちづくりへの参画を促進していきます。

□花と緑豊かなまちづくり

ボランティアの皆さんや、学校、地域と一体となって、花・緑豊かなまちづくりを進めていきます。また、こうした取り組みを通して、地域への愛着と誇りを醸成するとともに、生きがいを実感できる地域コミュニティを形成していきます。



住之江小学校での種まきの様子



生涯学習ふれあいフェスティバル

□若者世代のまちづくりへの参画

今後の地域づくりにおいては、未来を担う若い世代の役割はより重要となっていきます。住之江区が将来においても生き生きとしたまちであるよう、若者世代がまちづくりに参画しやすい環境づくりを進めていきます。

□生涯学習の推進

区民の皆さんが生涯にわたって学ぶことができ、その成果を自らの人生に生かし、社会に還元することができる地域づくりを進めていきます。このため、生涯学習ルームや舞昆ホール、きずなステーションなどの公共施設を活用し、区民の皆さんの生涯学習推進を支援していきます。



南港ポートタウンのプロモーション

備える



住之江区は海に面し、海拔が1 mにも満たない地域が広がっているため、大規模地震発生時には、地震による揺れだけでなく、津波への備えが必要です。また、大和川の洪水による被害も懸念されており、このような大規模な自然災害への備えとして、自助、共助、公助によるまちの防災力を強化していきます。

防犯については、ひったくりなどの街頭犯罪の件数は減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあります。このため、警察や地域などと連携しながら、街頭犯罪の抑止に向けた取組の強化を進めていきます。

■災害に強いまちづくり

今後想定される大規模な自然災害に対する備えとして、防災計画を一層充実していきます。また、災害から区民の皆さんの身を守るため、共同住宅や、学校、企業等の協力を得ながら、避難場所の確保や備蓄の充実など、災害に強いまちづくりに取り組むとともに、区民の皆さんの防災意識の向上に取り組めます。



防災プラン

□防災計画の充実

災害に対する事前の備えや、災害発生時の区民の皆さん、地域、区役所の役割と具体的行動を定めた「住之江区防災計画(住之江区防災プラン)」を改訂し、その充実を図ります。

□津波避難ビルの確保、備蓄物資の充実

学校、共同住宅、オフィスビルを津波避難ビルとして指定するなど、避難場所、避難所の確保に努めるとともに、避難所での食料や簡易トイレなどの生活関連用品等の備蓄物資を充実していきます。

- ※1 避難場所：切迫した災害からの危険から逃れるための場所や施設（広域避難場所、一時避難場所、津波避難ビル、水害時避難ビル）
- ※2 避難所：一定期間滞り、避難所の生活環境を確保するための施設（災害時避難所、福祉避難所）



津波避難ビルの表示



防災パートナー募集チラシ

□防災意識の向上に向けた啓発

地域における各種防災訓練等のサポートや防災出前講座の実施に加え、消防署など関係機関と連携した地域防災の要となる防災リーダーへの研修を実施するとともに、ホームページや広報紙などを活用した区民の皆さんへの広報を実施します。

■自助、共助による災害への備え

日頃からの各家庭での自主的な災害に対する備えを進めるため、区民の皆さんへ積極的に働きかけていきます。また、区民や自主防災組織の取組による、地区防災計画(わがまち防災プラン)の充実や自主防災活動の実施など、地域における「自助」・「共助」を推進し、地域の防災力向上に取り組みます。



非常用備蓄物資

□家庭での防災の備え

災害発生後、1週間程度は各家庭で飲料水や食料などを自足できるよう非常備蓄品の備えが必要です。また、自身の安全確保のため、定期的に家の中や周囲をチェックし、タンスなどの家具の転倒防止や屋外への避難通路を確保しておくことなどが重要です。こうした「自助」による災害への備えが進むよう、区民の皆さんに一層働きかけていきます。

□地域の自主防災組織等による備え

過去の大規模災害では、開設初期の避難所で大きな混乱が生じたケースが見受けられています。こうしたことを教訓に、地区ごとに定める「地区防災計画(わがまち防災プラン)」の一層の充実や、自主防災組織による避難所開設・運営や高齢者等の避難支援を想定した訓練等の実施など、地域の自発的な「共助」による防災・減災の活動を促進します。さらに、企業、NPO、ボランティア団体等が地域と連携しながら災害対策や復興に貢献する「防災パートナー」の拡充に取り組みます。



避難所開設・運営訓練

■防犯活動の充実

ひったくりなどの街頭犯罪7手口の発生件数は依然として高い水準で推移しています。住之江区を「住みよい区」としていくためには、区民の日常生活での安全を確保することが重要であり、警察などの関係機関や地域と連携し、一体となって街頭犯罪の抑止に取り組みます。



防犯カメラ

□街頭犯罪の抑止に向けた継続的な取組

街頭犯罪の発生を抑止し暮らしやすいまちの実現に向け、警察や市民局などと連携し、公園や街頭での防犯カメラの設置を進めていきます。また区民の安心を高めていくため、青色防犯パトロールカーなどによる地域の巡回パトロールを継続します。



ひったくり防止カバー取付けの様子

□防犯意識の向上に向けた啓発

街頭犯罪の抑止に向け出前講座を実施するとともに、ホームページや広報紙などを活用した広報を実施します。また、ひったくり犯罪の減少に効果が見込まれるひったくり防止カバーの普及やこども110番の家の拡充に取り組みます。



薬物乱用防止教室

□青少年の健全育成に向けた取組

非行の低年齢化や薬物乱用などが深刻な問題となっています。また、本人が気付かないうちに被害者や加害者になってしまうなど、犯罪が多様化しています。このような問題に対し、まずは発生を予防することが大切であり、地域や関係機関と連携しながら、啓発に取り組んでいきます。